



# 三つ葉のクローバー

R4.3.24\_Thursday\_【心を育む生徒指導通信 No11：通算 43 号】

作成者・教諭 花園修兵

今年度も残りわずかとなりました。コロナ禍ではありましたが、先日卒業式が行われ、2年ぶりに在校生も参加した本来のかたちで実施されました。3年生にとって3年間を通した行事の中で最も大切な卒業式を、全校生徒・教職員・保護者で送り出すことが出来きとても嬉しく思います。

人は節目を通して成長するものです。卒業式は誰にとっても節目であったと思います。卒業式の準備や片付けを一所懸命にする1,2年生の姿・・・あれが穴水高校生の姿です。先輩のためにとった行動が、次は自分に返ってくる。やはり、縦と横のつながりは大切ですね。何よりも心が育まれます。

さて、そんな温かい穴水高校での今年度最後の生徒指導通信です。テーマは「三つ葉のクローバー」です。

今回のテーマを見て、なんで三つ葉なの・・・？

普通は四つ葉のクローバーでしょ・・・？

と思った人も多いのではないのでしょうか。

こんな言葉があります。



**「四つ葉のクローバーを見つけるために、三つ葉のクローバーを踏みにじってはいけない」というものです。**

どういうことなのか見ていきましょう。

四つ葉のクローバーはなんと10万本に1本しかないそうです。

よって、花言葉は「**幸運**」であり、見つけたその人は「**幸運な人**」ということになります。

だから人は四つ葉のクローバーを探したがります。そのためにクローバーがいっぱい生えているところを踏み分けて踏み分けて探します。その時、三つ葉のクローバーは踏みつけられています。

四つ葉のクローバーには価値があって、三つ葉のクローバーには価値はないのでしょうか？

三つ葉のクローバーの花言葉は「**幸福**」なんです。\*花言葉は諸説あります。

つまり、私たちはほんのちょっとしかない「幸運」を手に入れるために、目の前にある沢山の「幸福」に気付かずにいるんですね。他人をうらやむ。何で自分ばかり。私は苦しいのに。あの子らはいいいね。

日常の小さな喜びって・・・皆さんも不安感や焦燥感を感じたことがあるのではないのでしょうか。

その正体は、実は私たちの先祖の、まだ人間ですらなかった時代の小さな動物だった頃の名残なんだそうです。少し科学的に見ていきましょう。人間の脳はいくつかの層でできています。一番外側にあるのが「**大脳新皮質**」です。「**新**皮質」というくらいですから「**旧**」もあるそうです。大脳新皮質の内側は、全ての動物が持っている「**旧哺乳類の脳**」とか「**爬虫類の脳**」があるそうです。

例えば、ネズミもその脳を持っています。ネズミは常に不安感や焦燥感を持つことで生き延びてきました。彼らは幸せを感じてはいけません。なぜかという動物は幸せを感じると動かなくなるんです。お腹いっぱいになって昼寝をしていたら他の動物に食われます。だからいつも何か不安感に煽られたり、そわそわして動いている。食べ物が無くなったら死ぬから、いつも食べ物を探して動き回っているんです。

つまり、不安感や焦燥感~~は~~私たちの先祖様が生き延びていくために身に付けた本能なんです。

だから、それがなくなることはないの、否定する必要もないんです。

こんなことを知るだけでも少しの「幸福」を感じられませんか。それでもやっぱり四つ葉のクローバーが欲しいですか。私たちの探しものは、実は足元にあるのではないのでしょうか。三つ葉のクローバーのように、**小さな幸福を隣のあなたへ**つないで行ける、そんな穴水高校生であってください。

大丈夫。絶対大丈夫。皆さんは誇り高い穴水高校生の新2・3年生なんですから。



## 穴高 ありがとうの輪 No.18

IB・Y.Y さんから IA・R.M さんへ ありがとう。

テスト期間中に学校で勉強に付き合ってくれてありがとう。

分からない所を教えてもらったりして、とても助かりました。ありがとう！